
平成 28 年 北海道建築士会 第 1 回まちづくり委員会 議事録

開催日時：平成 28 年 3 月 12 日（土） 14：00～16：35

開催場所：事務局会議室（札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階）

出席者：＜担当常務理事＞井上 勝己（札幌）

＜委員長＞針ヶ谷 拓己（札幌）

＜副委員長＞清水 浩史（旭川）、浅沼 直樹（札幌）

＜委員＞若浜 崇（桧山）、北野 学（名寄）、山田 直登（空知）、高橋 真美（北見）

＜協議事項＞

1. 平成 27 年事業報告及び平成 28 年事業計画について（針ヶ谷）【14：00～14：40】

（1）事業方針（28 年、29 年）

「まちづくり活動の推進、アピール・・・そして建築士（会）のブランドカアアップ」

①各支部のまちづくり活動を把握し、その活動事例をアピールすることにより、全道各支部のまちづくり活動を活発化させる

（過去、各支部青年委員会で活躍していた会員を、再び呼びもどしたい）

②“地域社会や生活者”“行政”から、「いいね」と感じていただけるような、まちづくり活動（地域貢献）を行い、その活動を広く社会へアピールすることにより、建築士（会）のブランドカアアップに貢献する

（2）平成 27 年事業報告・決算

○別紙にて説明

（3）平成 28 年事業計画・予算

○別紙にて説明

※委員会日程 1 月 30 日（小会議-1）
3 月 12 日（第 1 回委員会）
5 月 14 日（WEB 会議-1）
8 月 27 日（WEB 会議-2）
10 月 29 日（第 2 回委員会）

2. まちづくりフォーラムについて（針ヶ谷）【14：40～15：10】

○担当 ◎針ヶ谷、清水、若浜、山田

○日時 平成 28 年 6 月 25 日（土）13：30～16：30

○場所 集合：苫小牧駅南口

会場：苫小牧信用金庫本店 2 階市民ホール（苫小牧市表町 3 丁目 1 番 6 号）

○テーマ 「苫小牧駅前通りの活性化に向かって」－苫小牧市と商店街の協働－

○内容 前半は苫小牧駅前のまちあるきを行い現状の商店街を肌で感じ取り、後半はその感想の意見出しや問題点の抽出を行うとともに、今後の商店街を活性化させる「まちおこし」案を参加者のみんなで考えていく。

- 13:00 受付
13:30 まちあるき
14:05 フォーラム開会、あいさつ
14:10 基調講演
 講師：苫小牧市総合政策部まちづくり推進室 未定
 講師：苫小牧駅前商店街振興組合理事長 秋山 集一 氏
14:40 パネルディスカッション
15:10 休憩
15:15 まちづくりフォーラムの紹介（前回フォーラムの報告）
15:30 フリーディスカッション（最後に講師の方から感想）
16:25 総括
16:30 閉会

※詳細は別紙による

<意見>

- ◇地元の人が気づいていないことを、集まった建築士が意見できれば・・・
- ◇学生の意見を取り入れることも良いかもしれない
（これからの苫小牧を高校生に問う。どうなったらイイ?）
- ◇パネルディスカッションは本音トークができると良い
- ◇商店街の説明に、歴史的背景を入れてほしい

- ◇パネラーはおもしろい話、夢のある話をされる方が望ましい
- ◇商店街の青年部や高校生（工業高校建築科）もパネラーに参加してほしい
- ◇苫小牧といえば紙。紙のまちづくり的な切り口はあるか
- ◇苫小牧で活躍する団体の方にも参加いただいていたほしい

- ・ 苫小牧カレーラーメン振興局 <http://tcrs.jp>
- ・ 苫小牧の工場夜景を広く知らせる団体 <http://okip.jp/step/5WHyPNIL/?p=208>
- ・ 苫小牧の遺跡を中心に縄文時代のことを市民に広げる団体

<http://www.joumon.info>

- ・ 子連れが行きやすいお店や、小児科などの情報提供団体（転勤族向け）

<http://ameblo.jp/tokotokotomakomai/>

- ◇苫小牧はイオンができて東側は栄えているイメージ
- ◇苫小牧は、車や物流の拠点、石油備蓄基地
- ◇苫小牧駅周辺、気軽に入れる飲食店が少なく感じる
- ◇当日はみんなで集合写真を撮りましょう

※上記意見を踏まえながら、企画を進めていくこととする

○参加者 本部まちづくり委員、各支部のまちづくり委員・地域貢献活動をされている方、苫小牧の一般市民（行政や商店街の関係者、まちづくりに興味のある市民）

○担当 集合場所誘導（苫小牧支部）

受付（本部委員、苫小牧支部）
会場設営等（苫小牧支部）
総合司会（苫小牧支部）
開会挨拶（針ヶ谷）
総括（担当常務）
コーディネーター（山田）
まちあるきネタ探し（山田）
過去フォーラム報告（若浜、山田）
配付資料印刷持参（苫小牧支部）
写真係（清水）
懇親会企画（浅沼）
アンケート作成（清水）
報告書作成（針ヶ谷）

○スケジュール

- ・3月下旬苫小牧支部での企画検討打合せ。日程が合えば出席（針ヶ谷、山田）
- ・CPD申請（5/20）（秋吉）
- ・座席レイアウト（5/14）、出席者名簿（6/10）（苫小牧支部又は針ヶ谷）
- ・活動事例報告シートの案内（4/下旬）、取りまとめ（6/中旬）（針ヶ谷）
- ・開催案内（4/29）（針ヶ谷）
- ・当日用アンケートの作成（5/14）（清水）
- ・懇親会企画（5/14）（浅沼）
- ・新聞社等への案内（秋吉）
- ・報告書作成（針ヶ谷）

3. 高校生建築デザインコンクールについて（針ヶ谷）【15：20～15：25】

○担当 ◎針ヶ谷、浅沼

○日時 運営委員会6月、選定委員会9月

○内容 道内の建築系学科が設置されている工業高校に在籍する生徒の皆さんから、道の整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会の共催によって開催される。

まちづくり委員会としては、6月の運営委員会、9月の選定委員会へ委員を派遣する。

※詳細は別紙による

4. 高校生「建築甲子園」について（針ヶ谷）【15：25～15：30】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 応募締切10月末

○内容 将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校及び高等学校の生徒を対象に、研究創作活動に対するコンペ「建築甲子園」を実施する。研究創作活動の例として、

実習活動、建築の設計、インテリア、家具の設計製作、都市その計画とアイデア等がある。主催は日本建築士会連合会・都道府県建築士会、後援は全国工業高等学校長協議会・国土交通省である。

まちづくり委員会としては募集時、表彰時に訪問し、道士会として積極的に関わる。

※詳細は別紙による

<意見>

◇高校生建築デザインコンクールと建築甲子園が、関係が重複しており、参加高校が少ないのも気になる

5. 景観整備機構について（針ヶ谷）【15：30～15：50】

○担当 ◎針ヶ谷、清水

○背景 高度経済成長期以降、美しいまちなみを軽視した建造物が建てられ、まちなみや自然景観から調和や地域の特色がどんどん失われてきた。そんな中、2003年に国土交通省が「美しい国づくり政策大綱」を策定したことを受け、2004年には景観法が制定された。これにより法の下で景観への取り組みが大手を振ってできるようになった。

一方、北海道においては、2001年から北海道ならではの「北海道の美しい景観のくづくり条例」が進められてきたが、景観法が制定された後、2008年に「北海道景観条例」に改定され現在に至っている。現在、北海道内で景観計画が策定できる「景観行政団体」は、北海道のほか、札幌市・旭川市・函館市・小樽市・釧路市・北見市・当別町・黒松内町・長沼町・東川町・美瑛町・清里町・平取町・上富良野町・栗山町・東神楽町である。

景観整備機構とは、景観法に基づき、良好な景観の形成に関する業務を行うことのできる団体であり、北海道建築士会は、平成27年3月26日、北海道（景観行政団体）から景観整備機構に指定された。なお北海道建築士会では、景観整備機構として、景観法第93条のうち下記の業を行うこととしている。

- (1) 第1号 良好な景観の形成に関する事業を行う者に対し、当該事業に関する知識を有する者の派遣、情報の提供、相談その他の援助を行うこと。
- (2) 第6号 良好な景観の形成に関する調査研究を行うこと。
- (3) 第7号 前各号に掲げるもののほか、良好な景観の形成を促進するために必要な業務を行うこと。

なお、景観整備機構として毎年、事業計画と事業報告を事務局にて提出していくが、現行の建築士会活動（社会貢献）を報告することで景観整備機構の継続が可能な状況である。

※北海道にて28年度の予算が付けば、委託業務の依頼があるかもしれない

※今後は札幌市、中標津町から景観整備機構の指定を受ける可能性がある

<意見>

◇本格的な委託事業を依頼された場合、責任が大きい。交通費や最低限の人件費程度であれば引き受けやすい部分もある

◇しかし、半分ボランティアのように働くことにも抵抗がある

◇景観整備機構としての事業内容は、景観まちづくり活動を盛り上げることや、地域の歴史的建造物をピックアップなどかと思われる。具体的には、北海道が作成する景観や観光に関する資料への協力が想定される

※上記意見を踏まえながら、事業を進めていくこととする

6. 全道大会（室蘭大会）分科会について（針ヶ谷）【15：50～16：20】

○担当 ◎浅沼、北野、高橋、若浜

○日時 平成28年10月1日（土）

○場所 室蘭市

○内容 浅沼副委員長より、3月9日室蘭へ事前に足を運び（針ヶ谷、浅沼）、室蘭のまちづくり活動をされている方々と打合せした内容を踏まえ、下記のような提案を行い、概ね承認された。

室蘭は鉄のまちというイメージですが、海があり、山があり、道内の石炭の積出駅や港として栄えた歴史もあるまちです。かつては人口18万人以上を有し、人口密度も北海道内で最も高かった時期もありましたが、現在は10万人を割り人口減少が続いています。そんな室蘭の「歴史」・「文化」・「観光」を活かした“まちづくり”を積極的に活動されている御三方にスポットを当て、今はそれぞれが「点」としての活動を、我々がその接着剤となり「線」や「面」にして、今後の可能性に繋げていくとともに、参加者の地元の“まちづくり”へのヒントとなるような分科会にしていきたいと考えております。

例年行っているまちあるきは、会場の位置関係や、時間配分を考慮し、取止めることとします（室蘭のまちの映像は準備）。具体的な内容は下記の通り。

- ①室蘭のまちづくりに関わる3人による基調講演
- ②パネルディスカッション
- ③フリーディスカッション
- ④アンケートの記入（室蘭まちづくりへのアドバイスの意見など）

<意見>

◇まちづくり活動は様々な団体が行っており、その活動の方向性はバラバラ。かじ取り役が必要と思われる

◇江差や滝川では、官民が一体となってまちづくり活動（お祭りなど）が行われている。

◇かじ取り役は行政のイメージ強いが、民間によって別組織として実行委員会を立上げる場合もある

◇分科会、市長に出席いただきたい

◇室蘭に貢献したい。併せて、室蘭市民へ建築士をアピールすることができれば良い

※上記意見を踏まえながら、企画を進めていくこととする

○スケジュール

- ・テーマ及びテーマコメントの決定（4/末）

7. 連合会まちづくり委員会について（針ヶ谷）【16：20～16：20】

委員長が連合会へ出向する

8. その他（針ヶ谷）【16：20～16：25】

○各支部へまちづくり活動状況のアンケート実施について

- ・うまくアンケートが取れない場合は、ブロック会から働きかけてもらう
- ・各支部まちづくり組織とのメーリングリストを構築する

○ホームページについて

まちづくり委員会のホームページを大幅リニューアル。活動報告や委員会議事録の公開を行う。
また、各支部のまちづくり（地域貢献）活動事例の掲載も今後進めていきたい。

《連絡事項》【16：25～16：35】

1. 連合会まちづくり委員会からの連絡事項

○全国まちづくり会議、全国まちづくり委員長会議（2/19・20）

- ・開催日 2月19日（金）20日（土）
- ・開催場所 笹川記念会館（東京都港区三田3-12-12）
- ・参加者 64名（北海道から、佐藤連合委員、針ヶ谷が出席）
- ・内容 「歴史的建造物の保存・再生・活用」

全国まちづくり会議1日目は、歴史的建造物の保存・再生・活用について、各都道府県の活動発表（15件）を行うとともに、「歴史まちづくり部会」をテーマにシンポジウムが行われた。全国まちづくり会議2日目は、「求道会館と求道学舎リノベーション事例」をテーマに基調講演を行うとともに、空き家の利活用についてワークショップが行われた。全国まちづくり委員長会議（2日目開催）は、ブロック内での単位士会連携活動の事例報告を行ったあと、ブロックごとにグループ分けして、連携活動についてワークショップによる意見交換が行われた。

○全国大会（大分）（10/22）

例年のまちづくり・青年・女性委員会との3委員会合同セッションは無くなり、まちづくり委員会にて単独開催となる。

2. 会誌「北海道建築士」の原稿について

まちづくり委員会へ原稿依頼があったときには、場合によって委員の方々に寄稿のご協力をお願いします。